

製品名: S100 (1E16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17458**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.23mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	11kDa

抗原情報

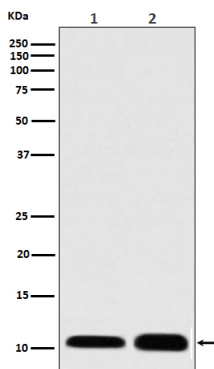
遺伝子名	S100A1
別名	Bpb; NEF; Protein S100-A1; S100 beta; S100 calcium binding protein A1; S100A; S100B; 100beta;
遺伝子 ID	6271.0
SwissProt ID	P23297
免疫原	ヒト S100 アルファの合成ペプチド

背景

カルシウムとは弱く結合するが、亜鉛とは強く結合する。各モノマー上には、両イオンに対して異なる親和性を持つ明確な結合部位が存在する。生理的濃度のカリウムイオンは、両方の二価陽イオンの結合を拮抗させ、特に高親和性のカルシウム結合部位に影響を及ぼす。Ca(2+)恒常性、軟骨細胞生物学、心筋細胞調節など、いくつかの生物学的プロセスにおいて重要な役割を果たす小さなカルシウム結合タンパク質 (PubMed:12804600)。細胞内 Ca(2+)レベルの上昇に反応してカルシウムに結合し、構造変化を引き起こす (PubMed:23351007)。これらの変化は、特定の標的タンパク質との相互作用を可能にし、それらの活性を調節する (PubMed:22399290)。心筋細胞において、リアノジン受容体 RYR1 および RYR2、筋小胞体 Ca(2+)-ATPase/ATP2A2、ミトコンドリア F1-ATPase との相互作用を介して、筋小胞体 Ca(2+)循環およびミトコンドリア機能を制御するネットワークを調節する (PubMed:12804600)。また、拡張期 Ca(2+)解離およびミオフィラメントの力学を促進し、拡張期の弛緩を改善する (PubMed:11717446)。

研究分野

画像データ



(1)ヒト骨格筋溶解物、(2)RAW264.7 細胞溶解物における S100 発現のウェスタンブロット解析。